

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第1学年 「生活（東京書籍）」

61時間（60%）

週	指導要領の主たる内容	単元名	小単元名	時間数	留意点	
1 2	(1)	1. がっこう だいすき	①がっこうの ことが しりたいな	5	・学校へ不安を抱えている児童もいるので、次のような活動を中心に行う。 ※幼稚園等で親しんできた絵本を読む。 ※自己紹介し合う。 ※学校の施設を見て回り、役割や使い方について話し合う。	
			②みんなと なかよくなりたいな	—		・①の自己紹介し合うところで補う。
3			③ともだちと がっこうを たんけんしよう	3		
4			④がっこうにいる ひとと なかよくなるう	3		・学校にいる人に自分の知りたいことを聞きに行く回数を減らしたり、自分の知りたいことを紙に書いてやりとりしたりするなど工夫する。
5			⑤がっこうで みつけた ことを つたえよう	3		
			⑥みんなで つうがくろを あるこう	—		・登下校で気付いたことを朝の会や帰りの会で交流するなど工夫する。
14時間						
6	(7)	2. きれいに さいてね	①たねを まこう	1	・水耕栽培（ヒヤシンス等）を取り入れるなど工夫する。	
			②せわを しよう	家庭	・家に持ち帰って世話をし、観察をする。	
			③はなの ようすを つたえよう	—	・花の様子など気付いたことを朝の会や帰りの会で交流するなど工夫する。	
			④たねを とうろ	—	・春に蒔くあさがおやひまわりなどの種や花などの写真を掲示しておくなど工夫する。	
1時間						
	(4) (5) (6)	3. なつが やってきた	①こういで くさばなや むしを さがそう	—	・夏の自然の様子や自然を使った遊びについては、「5. たのしい あき いっぱい」、「7. ふゆを たのしもう」の単元の導入で触れる。 ・公園等でのルールやマナーについては、保護者に伝え、公共施設等利用の際に指導してもらうなど工夫する。	
			②みんなの こうえんで あそぼう	家庭		
			③みずで あそぼう	—		
			④たのしかった ことを つたえよう	—		
0時間						
6	(7)	4. いきものと なかよし	①むしを さがそう	2	・校庭で虫を探したり、観察したりする機会を減らす。	
7			②むしと なかよくなるう	2	・適切な虫の飼い方について調べたり、世話などを通して気付いたことを交流したりする活動を中心に行う。餌をあげたり世話をしたりすることは常時行う。	
4時間						
8 9	(5) (6)	5. たのしい あき いっぱい ※季節の時期を考え、他の単元と入れ替えて実施する。	①こういで あきを さがそう	2	・春や夏の自然の様子や自然を使った遊びについて触れる。	
			②こうえんで あきを さがそう	—	・①の校庭での秋探しで補う。	
			③はっぱや みで あそぼう	3		
			④あきの ことを つたえよう	1		
10 11			⑤あきの おもちゃを つくろう	7		
			⑥いっしょに あそぼう	—	・⑤の秋のおもちゃを作って友達と一緒に遊ぶことで補う。	
13時間						
12 13 14	(2)	6. じぶんで できるよ	①じぶんの いちにちを みつめよう	3		
			②じぶんで できる ことを しよう	6		
15			③これからも つづけよう	2	・自分が家庭でさらに続けていきたいことなどを考える。 （家庭で実践後）続けて良かったことを伝え合う。	
11時間						
16	(4) (5) (6)	7. ふゆを たのしもう	①こういで ふゆを さがそう	2	・春や夏、秋の自然の様子や自然を使った遊びについて触れる。	
			②ふゆの こうえんに いこう	—	・夏や秋の自然の様子と冬の変化については、①の校庭での冬探しで補う。	
17			③そとで あそぼう	3		
18			④ふゆの ことを つたえよう	1		
6時間						

18	(8) (9)	8. もうすぐ 2ねんせい	①あたらしい 1ねんせいを しょうたい しょう	4	・実際に招待するのではなく、新しい1年生にど んなことを教えたいか、一緒にしたいことを話し 合い、新しい1年生に手紙を書いて伝える。
19			②しょうたいした ことを はなしあおう	—	・新しい1年生に手紙を書いて伝えることで補 う。
			③いちねんかんを ふりかえろう	3	
20 21			1 2時間	④ありがとう わたしたちの きょうしつ	5

※時間数の精選方法（例）

○小単元をまとめて指導する。

- ・四季の変化や自然の様子などは、まとめて指導することで、授業時間の削減になります。
 <例>・春や夏の自然の様子や自然を使った遊びについては、「たのしい あき いっぱ
い」、「ふゆを たのしもう」の単元の導入で触れる。 など

○具体的な活動や体験を通して気付いたことなどを朝や帰りの会の時間を使って伝え合う。

- ・具体的な活動や体験を通して気付いたことなどを伝え合う機会については、朝や帰りの会の
時間を有効に使うことで、授業時間の削減になります。
 <例>・通学路の施設や安全を守っている人など登下校中で気付いたこと など
 ・自分の家で育てている花の様子

○家庭での実践で補う。

- ・具体的な活動や体験、生活上必要な習慣や技能について、家庭で実践することで、授業時間
の削減になります。その際、家庭への丁寧な説明が必要になります。
 <例>・植物の世話
 ・公共施設でのルールやマナー など